

①お茶壺道中は、だれが何のために行ったと言われてますか。

②東京で再現した目的は何でしょうか。

③あなたの住んでいる地域に伝わる古い行事を書きましょう。



日本橋を練り歩くお茶壺道中の一行  
11月7日午後、東京都中央区

とない ちゃ つぼ どう ちゅう  
**都内で「お茶壺道中」**

徳川家康ゆかりの「お茶壺(つぼ)道中」が7日、東京都中央区の三越日本橋本店周辺で行われた。江戸時代の奉行やお茶姫、腰元などの衣装に身を包んだ静岡市の茶生産者やJA関係者ら21人が、茶壺を運ぶ華やかな行列を再現。日本橋を起点に繁華街を練り歩いて買い物客らに静岡茶をアピールした。

お茶壺道中は家康が、春に摘んだ本山茶を葵区の大日峠にあったお茶蔵で熟成させ、秋に駿府城に運ばせて味わったという故事に由来。行列は日本橋から同店までの約2000歩を歩いた。到着後、

はな しず おか ちゃ せいさんしゃ かんけいしゃ  
**華やかに静岡茶PR 生産者、JA関係者ら**

メンバーが香りと風味が落ちないよう茶を壺に詰める「茶詰め儀」を披露して注目を集めた。

お茶壺道中は「日本のおもてなし」をテーマに13日まで開かれている催事の一环で、静岡市が実施した。期間中は同店内でお茶をメインにした多彩なイベントが行われる。上級煎茶の呈茶や竹製茶室の展示をしている。田辺信宏市長は「歴史ある日本橋で(お茶壺道中を)披露するのは初めて。静岡茶の文化をPRする絶好の機会」として次へつなげたい」と意気込んだ。

(東京編集部・水野紗希)

2016年9月8日 朝刊

**年 組 名前**